

協会活動報告

令和7年度 第1回 理事会 (2025/4/12)



新年度&新会員を迎えるにあたり、協会のこれからについて役員一同で議論しました。会則の改定、青年委員会の増員、事業の拡大など、さらなる発展に期待の当協会。「今年度もやるぞ!」というエネルギーに溢れていました!

第24回 全国日中女性委員会総会 (6/8)



全国女性委員会第24回総会が長野市で開催され、全国女性委員会設立40周年記念講演会、中国大使館との交流会、祝賀会もあわせて開催されました。栃木県日中からも金崎理事や清水理事など複数名参加いたしました。

TIAランチタイムコンサート&総会 (6/14)



楽しいコンサートのあとは、真剣なムードに。栃木日中数年ぶりの総会が行われました。総会では、前年度活動&決算報告、本年度活動&決算報告、その他規約などの重要事項の確認がなされました!

総会後はみんなで懇親会! (6/14)



総会後はホテルニューイタヤ地下宴会場へ移動し、みんなで食事と歓談を楽しみました。栃木日中の活動に新しく参加される方々も多く交え、非常に盛り上がりました! 新しい仲間とともに、今年度下期も頑張りましょう。



こちらは栃木日中友好協会新設サイトのQRコードです。『知己』に載せきれない詳細な情報はこちらからご覧ください。お問合せや掲載依頼も随時受け付けております!

栃木と杭州を結ぶ懸け橋に

— 2024年度友好交流員 加藤かれんさん 留学報告 —

6月14日の総会後は、2024年度に栃木県から中国・浙江省に友好交流員として派遣された加藤かれんさんによる浙江大学留学報告会が実施されました。加藤さんは歯科衛生士としての勤務やワーキングホリデーを経る中で中国文化への関心を深め、浙江省への派遣に応募しました。現地では中国語を学びながら、歴史文化にふれる課外活動や学生同士の交流に積極的に参加。杭州・西湖や良渚遺跡、黄山などを訪ね、多くの出会いや学びを重ねました。「言葉の壁もありましたが、それ以上に人の優しさに支えられた半年間でした。今後は、栃木と杭州の架け橋として活動していきたいです」と語る加藤さん。現地での体験は、中国への理解を深め、国際交流の大切さを実感する貴重な機会となりました。 ↓発表する加藤さん。



令和7年度中国浙江省友好交流員の募集

国際的な視野を持つ人材を育成し、県の国際化を推進するため、友好交流都市である中国浙江省の浙江大学にて、中国語・中国文化等を学ぶ「友好交流員」を募集します。

派遣期間: 令和7年9月から令和8年1月まで
派遣先: 中国浙江省杭州市

研修内容: ①浙江大学での中国語等の学習
②歴史・文化・経済等の自主研究

費用負担: ①渡航経費
②中国浙江省が負担する滞在経費以外の費用



【お問い合わせ】
国際経済課 地域外交担当
〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20 県庁舎本館6階
電話番号: 028-623-2194
ファックス番号: 028-623-2199
Email: chiikigaikou@pref.tochigi.lg.jp

本誌『知己』
発行から1周年を迎えました!!

第1号

2024/9/30発行
栃木県日中友好協会青年部
河内郡上三川町大字
ゆうきが丘12-6
0285-52-1588

第2号

2024/12/31発行
行: 栃木県日中友好協会青年部
河内郡上三川町大字
ゆうきが丘12-6
0285-52-1588

第3号

2025/3/31発行
行: 栃木県日中友好協会青年部
河内郡上三川町大字
ゆうきが丘12-6
0285-52-1588

第4号

2025/6/30発行
行: 栃木県日中友好協会青年部
河内郡上三川町大字
ゆうきが丘12-6
0285-52-1588

第1号発行から早くも1年が経ち、第4号発行を迎えました。それぞれの『知己』の内容が非常に充実していたように、この1年は栃木日中にとって大きな変化の年でありました。2年目はさらに楽しく学びの多い『知己』にするために、栃木日中一同邁進して参ります!!

栃木県日中友好協会事務局 連絡先

FAX: 0285-52-1588

E-mail: tochiginichu.jimukyoku@gmail.com

栃木県 日中友好協会 会報誌 知己

2025/6/30発行

第4号

発行: 栃木県日中友好協会青年部
河内郡上三川町大字
ゆうきが丘12-6
0285-52-1588

栃木日中&TIA共催ランチタイムコンサートにて、石田理事が圧巻の歌声を披露

石田忠隆理事 略歴

1963年東京都生まれ。栃木県立宇都宮東高等学校卒業後、東洋大学経営学部、宇都宮大学教育学部で学び、1989年に渡伊。イタリア・パルマ市の国立音楽院「アッリーゴ・ボイト」で声楽を本格的に学ぶ。1993年よりイタリア、ブルガリア、エストニアなど東西ヨーロッパ各地で活動。40以上のオペラ役を務め、150回を超えるコンサートに出演。1999年イタリア・マルサーラ市の国際声楽コンクール4位入賞。

2002年に帰国後、国内外で公演を重ね、日本・イタリア・韓国・台湾・中国での友好コンサートを多数開催。中国では昆明(2009) 青島(2011) 南京(2015)などで歌唱し、音楽を通じた国際交流に尽力。オペラブルカントジャパン代表、とちぎ未来大使。宇都宮市の友好都市ピエトラ・サンタ市の通訳・翻訳も務め、声楽指導を通して次世代の育成と友好の輪を広げている。



コンサートの主役「オペラブルカントジャパン」のみなさまと♪



コンサート当日(6/14)では、中国歌曲、日本歌曲、イタリア歌曲など、多彩なジャンルの名曲を披露。『君が代』や『荒城の月』『パッヘルベルのカノン』といった馴染み深い曲から『ねこふんじゃった』の変奏曲演奏など、石田理事の豊かな歌声と糸川玲衣香氏の優雅なピアノ演奏で参加者を魅了した。今後ますますの活動に期待したい。

令和7年度栃木県青年訪中団 募集開始

今年も栃木県日中友好協会は、浙江省対外友好協会の招聘を受け、湖州市・杭州市・紹興市をめぐる5泊6日の友好訪問団を派遣する。大学生から社会人まで、県内各分野の青年を中心に構成され、現地の大学交流や文化視察、歴史探訪、企業見学など、多彩なプログラムを通じて浙江省との相互理解と信頼関係を深める。

訪問では、南浔古镇や西湖といった風光明媚な名所を巡り、浙江外国语学院や湖州師範大学での交流、西湖遊覧や魯迅故郷の散策、蘭亭での文化体験なども予定。浙江省友好協会の歓迎宴会も組まれ、現地の人々との直接の交流が大きな魅力である。日本と中国の若い世代が互いの文化を学び合い、友情を育むこの訪問団。今年も新たな出会いと発見が待っている。

都立大学年次代表選考委員会定款				
～ 観覧者：秋田市、観覧料：5月6日 0円 ～				
日数	年 月 日	予 定	内 容	備 考
2025年		7:30 集合、8:00 市街地散策(古街)	観覧：市庁裏宮東口 成田公園へ	
1	9月19日 (金)	飯沼あき/吉岡 幸三 佐藤あき/吉岡		



牧野想さん

こんにちは！牧野想と申します。昨年9月より、浙江省友好交流員として浙江大学に半年間留学しておりました。浙江省杭州市は中国東部に位置する浙江省の省都であり、西湖の美しい景観を誇るとともに、アリババ本社を擁する中国の電子商取引の中心地として発展を遂げています。

私はこの魅力的な環境のもとで充実した留学生活を送ることができました。今回は、浙江大学での学びや北京旅行での体験を紹介いたします。



加藤かれんさん

こんにちは！加藤かれんと申します。2024年度友好交流員として浙江大学に半年間留学いたしました。医療系の社会人経験を経てからの新しい挑戦でしたが、中国の魅力は深く半年では全く足りませんでした(笑)留学期間中は浙江大学の学生さん達や様々な国の留学生と交流しました。

西湖にも散歩をしによく遊びに行きました。賑わいもありつつ古き良き風情豊かさも残す杭州市が大好きになりました！

浙江大学の留学生活

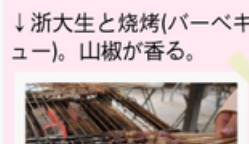
(文:加藤かれん)



語学留学生が集う浙江大学玉泉キャンパスは、世界遺産である西湖や杭州植物園に隣接し、自然豊かな環境の中で勉強することができます。



↑ 浙大玉泉校区にある巨大な毛沢東像。



↓ 浙大生と烧烤(バーベキュー)。山椒が香る。

キャンパス内には毛沢東像があり、歴史的な雰囲気を感じられます。留学期間中は国際教育学院に所属し、多文化溢れる空間で中国語を学びました。同じキャンパス内にいる工学部の学生にバーベキューに誘って頂いたり、勉強の傍ら楽しい時間を過ごすことができました。また本科生が集う紫金港キャンパスでは日中交流会や学園祭など様々なイベントを行っていて、参加させてもらう機会が多くありました。

留学生活中に初めて食べたもの&念願のアリババ見学

日本ではあまり馴染みのない小龙虾はその見た目に対し抵抗がありましたが、食べてみたら絶品でした。また青蛙は鶏肉のような食感で、ご飯と一緒に食べたくなる程箸が進みました。中国で至るところにある美食街は、立ち寄りというも心が躍り、両手いっぱい美味しい物を買ってしまう大好きなスポットでした。



← 小龙虾(ザリガニ)。両手に手袋をして殻をむいて食べるのが一般的。



← 青蛙(カエル)。食べた感じは鶏肉に似ているとよく言われる。ウシガエルは肉が大きくてより美味。

杭州市にあるIT企業アリババを訪問しました。スタッフの方直々に、アリババの歴史や事業内容について説明して頂きました。AIやITを駆使し様々な生活様式がアリババから変化していったことに感銘を受け、また常に進化する姿勢を保ち続けるアリババの理念が私自身への大きなモチベーションにもなりました。



← アリババ訪問時の写真。誰もが知っている企業の本社を擁している点も、杭州市ひいては浙江省の強みだ。

浙江省紹興市の寺院参拝、自然景勝地でハイキング

歴史的な仏教寺院の新昌大仏寺と、その近くにある十九峰景区に訪れました。大仏寺は東晋時代(4世紀頃)から約1700年の歴史を持ち、高さ16メートルの大仏が祀られています。参拝の際は壮大な岩並みを登り続け、頂上に到達したところで圧巻の景色が待ち受けていました。また十九峰景区にて岩の間を結ぶ吊り橋を渡る際は、スリル満点でした。高所恐怖症の人は要注意！

十九峰景区の吊り橋



浙江の知己より

浙江に住む人、学ぶ人、働く人。
我らが知己たちは中国で様々な活躍しています。
彼らの語る中国を聞いて、現地に想いを馳せましょう。

浙江大学での学び

(文:牧野想)



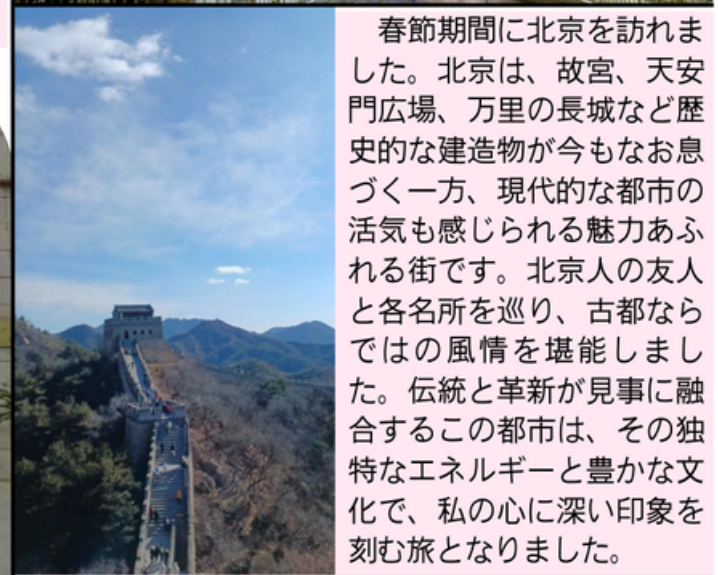
留学期間中は、浙江大学玉泉校区の国際教育学院で中国語を学びました。クラスはレベル1から7に分かれ、各レベル内で更に班に分かれています。私は中級レベルの3班に所属し、インドネシア人やドイツ人など多国籍の留学生と共に学びました。中級クラスからは授業が中国語で行われるため、最初は授業についていくのに苦労しましたが、中間テストを乗り越えた頃には次第に余裕を持てるようになりました。

また選択科目「古典舞」の一環として、大学主催の新年国際イベントで、チベットダンスのパフォーマンスをしました。異なる文化のダンスを学び発表する経験は、表現力や協調性の向上だけでなく、中国の伝統文化への理解を深める貴重なものとなりました。さらに、浙江大学日本語学科の学生と交流する機会にも恵まれたため、将来日本語教師を目指す私にとって実りの多い体験であったと思います。

浙江大学玉泉キャンパス



北京旅行



春節期間に北京を訪れました。北京は、故宮、天安門広場、万里の長城など歴史的な建造物が今もなお息づく一方、現代的な都市の活気も感じられる魅力あふれる街です。北京人の友人と各名所を巡り、古都ならではの風情を堪能しました。伝統と革新が見事に融合するこの都市は、その独特なエネルギーと豊かな文化で、私の心に深い印象を刻む旅となりました。